

Doped $\text{La}_{0.5}\text{Sr}_{0.5}\text{MnO}_3$ as Oxide Anode for Solid Oxide Fuel Cells using Dry C_3H_8 for Fuel

アウディ, マジダン, ビン, カマルル, バハライン

<https://doi.org/10.15017/1806995>

出版情報：九州大学, 2016, 博士（工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：全文ファイル公表済



氏 名	Audi Majdan Bin Kamarul Bahrain			
論 文 名	Doped $\text{La}_{0.5}\text{Sr}_{0.5}\text{MnO}_3$ as Oxide Anode for Solid Oxide Fuel Cells using Dry C_3H_8 for Fuel(燃料に乾燥 C_3H_8 を用いる固体酸化物燃料電池のための $\text{La}_{0.5}\text{Sr}_{0.5}\text{MnO}_3$ 系酸化物アノード)			
論文調査委員	主 査	九州大学	教授	石原達己
	副 査	九州大学	教授	田中敬二
	副 査	九州大学	教授	林 克郎

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は、 LaMnO_3 系ペロブスカイト型酸化物の乾燥 C_3H_8 を直接、燃料に用いる SOFC のアノード特性の向上を添加物と酸素イオン伝導性酸化物の混合により検討したもので、これらの成果は、電気化学的なエネルギー発生分野の発展に大きく貢献するものであり、材料化学の分野で寄与するところが極めて大きい。よって本論文は、博士（工学）の学位論文に値するものと認める。